



# ひしのみ

山形市立明治小学校  
学校だより  
R5.7.25 発行  
第5号  
文責：森谷 弘昭

## 充実した1学期が終業しました

本日、終業式を体育館で行い、74日間におよぶ1学期を無事終えることができました。これもひとえに保護者、地域の皆様からの温かいご支援、ご協力の賜物と、心より感謝申し上げます。

終業式では、これまでのコロナ禍の制約を忘れるくらい、子ども達の元気な歌声や笑顔あふれる表情が印象的でした。



「1学期のふりかえり」では、2年生、6年生の児童代表が発表しました。2年生は、4月に考えた、なりたい自分についての3つのめあてを基に1学期を振り返り、どれも達成できたと嬉しそうに発表しました。また、2年生では、頑張って勉強したり進んで働いたり、友達と仲良くしたりすると花丸がもらえ、10個集まるとクラスでお祝い会をするのだそうです。1学期は2回できたそうで、それも嬉しかったようです。みんなで頑張ることの尊さを知った2年生は、2学期はさらに成長していくことを期待したいと思います。6年生は、頑張って練習し創立記念の集いで発表した「希望を胸に」のピアノ伴奏について、宮城県方面修学旅行での震災学習から学んだ命の大切さとその後の自分自身の行動について発表しました。個人の振り返りだけでなく、2学期はクラス全体で協力して成し遂げるという抱負も語りました。2人の発表を聞いて、それぞれの心の中に大切なことがしっかりと刻まれていることを嬉しく思いました。

話は替わりますが、長い1学期の中から各学年の1番の思い出と理由を聞いてみたところ、次のような答えが返ってきました。

1年生「プール」🏊 泳ぐ、潜ることができるようになったから。宝探しが楽しかった。

2年生「スイミーの劇」🎭 頑張って練習して、1年生に見せることができたから。

3年生「水泳」🏊 できるようになりたい、できなかった技ができるようになった達成感。

4年生「水泳」🏊 個人メドレーの挑戦。人生で初めて泳いで、12.5m泳げた。

5年生「宿泊学習」🏕 みんなで協力できた。キャンプファイヤーのゲームが楽しかった。

6年生「修学旅行」🏫 学校では体験できないことをたくさん学び、考えるきっかけとなった。

「為すことによって学ぶ」という言葉がありますが、「活動あって学びなし」で終わらないようにするには「活動を通して主体的に気づき、考え、実行する」ことが大切かを子ども達の姿から学んだ1学期でした。2学期は、一人一人、学級（学年）、そして学校全体がさらに成長するよう適切に支援し、共に支え合う関係性を大事にしていきます。

